

日本赤十字九州国際看護大学/Japanese Red
Cross Kyushu International College of
Nursing

No.16 Guidelines for contributing (Japanese)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-04-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 日本赤十字九州国際看護大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/554

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



日本赤十字九州国際看護大学紀要 執筆要領

日本赤十字九州国際看護大学紀要編集規程第7条に基づきこの執筆要領を定める。

1. 原稿の種類、内容

原稿の種類と内容は下表のとおりであり、未公刊のものに限る。また著者は原稿にその種類(何れか一つ)を明記しなければならない。なお、投稿原稿は返却しない。

原稿の種類	内容	制限頁数
原著 Original Article	テーマが明瞭で独創性に富み、新しい知見や理解が倫理的に示されているもの。研究論文として形式が整い、研究としての意義が認められているもの。	12
総説 Review Article	とりあげた主題について、内外の諸研究を幅広く概観し、その主題についてのこれまでの動向、進歩を示し、今後の方向を展望したもの。	12
報告 Report	【調査報告】調査・実験などで得られたデータをまとめ、本学の教育、看護領域の発展に寄与するもの。 【事例報告】事例を用いた分析が本学の教育、看護領域の展開に寄与するもの。 【実践報告】教育および看護の臨床における実践方法に関するもの。	10
研究ノート Research Note	萌芽的研究、追試的研究、研究情報(文献レビューもこれに含める)など。	10
資料 Source/Information Supplemental Article	調査・実践などで得られたデータや資料で、利用価値がある(と期待される)もの。	10
論壇 Sounding Board Article	本学の教育、看護領域に関わる話題のうち、議論が交わされつつあるものについて今後の方向性を指し示すような見解や提言。	2
その他 Others	上記の категорияに分類することが難しいが、委員会が掲載を妥当と認めたもの	6

2. 執筆形式

- (1) 原稿は和文または英文とする。次の形式にてA4判で作成する。
- (2) 和文は明朝体で48字(全角)×44行とする。
- (3) 英文はCentury体で92字(半角)×44行とする。
- (4) 和文の場合であっても、英数字、度量衡の単位、外国人名はすべて半角(1バイト、ASCⅡコード)に統一する。例えば、℃、㎡、kgなど機種に依存する特殊記号は使用しない。
ただし、和文にコンマ「,」、ピリオド「.」、コロン「:」等の記号を使用する場合は全角とする。
- (5) カタカナは必ず全角文字(2バイト)とし、半角文字(1バイト)では表記しない。
「ナース」は「ナース」と表記する。
- (6) イタリック体ギリシャ文字など特別な字体、記号はそのつど明瞭に指定する。

3. 構成、図表

(1) 原著論文の本文構成、大項目は次のとおりとする。

大項目は太字、ゴシック体とする。

I はじめに（または緒言）(Introduction)

II 研究方法 (Materials and Methods)

III 結果 (Results)

IV 考察 (Discussion)

V 結論 (Conclusion)

謝辞 (Acknowledgement)

文献 (References)

(2) 段落番号は、全角、ゴシック体 **1. 2. 3.** とし、さらに細分する場合は、全角、明朝体 1) 2) 3)、(1) (2) (3)、①②③とする。

(3) 図、表および写真はそれぞれ別紙に作成する。図および写真のタイトルはそれぞれの下に、表のタイトルは表の上に記す。図 1、表 1、写真 1 と通し番号を振り、本文中に赤字で挿入位置を明記する。

4. 抄録

(1) 論壇を除く全ての投稿原稿には和文（600 字程度）および英文（300 語程度）抄録 (abstract) を付ける。抄録は表題、著者名、所属、キーワード（5 個以内）、抄録本文とで構成する。抄録本文は背景 (Background)、目的 (Objective)、研究デザイン (Design)、対象 (Subjects)、結果 (Results)、結論 (Conclusion) などで構成し、簡潔にまとめる。

(2) 英文抄録は次の要領でまとめる。

ア タイトルは次のように記述する。なお、タイトルのはじめの一文字と固有名詞のみ大文字で記載する。

<例> Nursing education for health development and the Japan International Cooperation Agency (JICA)

イ 著者は次のように記述する。

<例> John SMITH, PhD Hanako FUKUOKA, PhD, RN Jun OKAMURA, MHS

ウ Key words は、固有名詞以外は小文字で記述する。

<例> gerontologic care, hip fractures, accidental falls, bone density

5. 文献の記載

文献 (References) の記載については次のとおりとする。

(1) 文献は本文中の引用箇所の肩に 1)、1~5)、1, 3~5) のように番号で示し、本文の最後一括して引用番号順に記載する。

(2) 文献の著者が 3 人以下の場合は全員、4 人以上の場合は 3 人までを挙げ、4 人目以降は省略して 3 人の著者名の後に「, 他」と記す。欧文献で著者が 4 人以上の場合は、3 人の著者名の後に「, et al.」と記す。

(3) 外国人著者名の英語表記は次のとおりとする。

last name 「, (コンマ)」 「半角スペース」 first name. 「半角スペース」 middle name.
(first name, middle name はイニシャルのみでよい)

<例1> Patricia E Benner → Benner, P. E.

<例2> Denny A Jones, Peter Wilkinson, Tim Roberts, Gryna Frank M.
→ Jones, D. A., Wilkinson, P., Roberts, T., et al.

(4) 文献の種類別の記載は、次のとおりとする。

【和文献】

(雑誌) 著者名：表題. 雑誌名, 巻(号)：頁-頁, 発行年(西暦年次).

<例> 浦田喜久子, 東智子, 大林由美子, 他：看護職のみで編成された日本赤十字社の「看護ケア班」：派遣の経緯から派遣準備、そしてチームの意義. 看護管理, 22(1)：39-43, 2012.

(単行本) 著者名：書名(版). 頁-頁, 出版地, 出版社(発行所), 発行年(西暦年次).

<例> 青山温子, 原ひろ子, 喜多悦子：開発と健康：ジェンダーの視点から. 33-34, 東京, 有斐閣, 2001.

(単行本の分担執筆箇所) 分担著者名：分担箇所のタイトル. 編集者名：書籍のタイトル. 出版地, 出版社, 引用頁数, 発行年(西暦年次).

<例> 樋口昌彦：コミュニケーション技術への視線：プロセスレコードの社会学的研究. 山中浩司編：臨床文化の社会学. 京都, 昭和堂, 47-48, 2005.

(翻訳本) 原著者名：原書名 [イタリック体、単語の頭は大文字] (版). 発行年(西暦年次), 訳者名：書名. 頁-頁, 出版地, 発行所, 発行年(西暦年次).

<例> Nightingale, F.: *Notes on Hospitals* (3rd ed.). 1863, 薄井坦子訳：病院覚え書. ナイチンゲール著作集第2巻. 301, 東京, 現代社, 1974.

(オンライン資料 doi なし) 著者名：表題. 雑誌名, 巻(号)：頁-頁, 発行年(西暦年次). URL, (参照入手日付 西暦年-月-日).

<例> 岡村純：質的研究の看護学領域への展開—社会調査方法論の視点から—. 沖縄県立看護大学紀要, 5：3-15, 2004.
<http://okinawa-repo.lib.u-ryukyu.ac.jp/bitstream/okinawa/5131/1/No5p3.pdf>, (参照 2015-06-15).

(オンライン資料 doi あり) 著者名：表題. 雑誌名, 巻(号)：頁-頁, 発行年(西暦年次). doi：doi番号 [doi番号の後にピリオドをつけない]

<例> 山勢善江, 山勢博彰, 立野淳子：救急・クリティカル領域における家族看護の構造モデル. 山口医学, 62(2)：91-98, 2013. doi:10.2342/yuj.62.91

(ウェブサイト中の記事) 著書名. “ウェブページの題名.” ウェブサイトの名称. 入手先 URL, (参照 入手日付 西暦年-月-日).

<例>中央教育審議会. “教育進行基本計画について－「教育立国」の実現に向けて－ (答申).” 文部科学省. http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/08042205.htm, (参照 2015-06-15).

【欧文献】

コンマ「,」、ピリオド「.」、コロン「:」は半角とし、後に「半角スペース」を入れる。

<例1> × with socioeconomic position:baseline data from

○ with socioeconomic position: baseline data from

<例2> × 58(2):10-15, 2012.

○ 58(2):10-15, 2012.

(雑誌) 著者名: 表題 [はじめの一文字のみ大文字]. 雑誌名 [イタリック体、省略しない、単語の頭は大文字], 巻(号): 頁-頁, 発行年 (西暦年次).

<例>Breeze, E., Jones, D. A., Wilkinson, P., et al.: Association of quality of life in old age in Britain with socioeconomic position: baseline data from a randomized controlled trial. *Journal of Epidemiology & Community Health*, 58(8): 667-673, 2004.

(単行本) 著者名: 書名 [イタリック体、単語の頭は大文字] (版). 頁-頁, 出版地, 出版社 (発行所), 発行年 (西暦年次).

<例>Smith, M. J., Liehr, P. R.: *Middle Range Theory for Nursing* (3rd ed.). 58-60, New York, Springer, 2014.

(単行本の分担執筆箇所) 分担著者名: 分担箇所のタイトル [はじめの一文字のみ大文字]. In: 編集者名: 書籍のタイトル [イタリック体、単語の頭は大文字]. 出版地, 出版社, 引用頁数, 発行年 (西暦年次).

<例>Chase, S. E.: Narrative inquiry: multiple lenses, approaches, voices. In: Denzin, N. K., Lincoln, Y. S. (eds.): *The Sage Handbook of Qualitative Research* (3rd ed.). Thousand Oaks, Sage Publications, 651-680, 2005.

(オンライン資料 doi なし) 著者名: 表題 [はじめの一文字のみ大文字]. 雑誌名 [イタリック体、省略しない、単語の頭は大文字], 巻(号): 頁-頁, 発行年 (西暦年次). URL, (参照 入手日付 西暦年-月-日).

<例>Phillips, J. M., Malone, B.: Increasing racial/ethnic diversity in nursing to reduce health disparities and achieve health equity. *Public Health Reports*, 129 (Suppl 2): 45-50, 2014. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3863700/>, (accessed 2015-06-15).

(オンライン資料 doi あり) 著者名: 表題 [はじめの一文字のみ大文字]. 雑誌名 [イタリック体、省略しない、単語の頭は大文字], 巻(号): 頁-頁, 発行年 (西暦年次). doi: doi 番号 [doi 番号の後にピリオドをつけない]

<例>Ueda R, Okamura J: Simplified Japanese Self-Perception Scale for Young Adults (SJS-PSYA) to identify risk cases. *Journal of Advanced Nursing*, 33(5): 644-651, 2001. doi: 10.1046/j.1365-2648.2001.01708.x

(ウェブサイト中の記事) 著書名. “ウェブページの題名.” ウェブサイトの名称. 入手先 URL, (参照 入手日付 西暦年-月-日).

<例> International Organization for Standardization. “How ISO develops standards.” International Organization for Standardization. <http://stuffandnonsense.co.uk/content/demo/iso/about/how-ISO-develops-standards.html>, (accessed 2015-06-15).

【その他】

上記のいずれにも該当しない引用文献の記載方法については、委員会で協議し、書式を決定する。

附 則

1. この要領は、平成26年6月12日から施行し、平成26年4月1日から適用する。
2. この要領は、平成28年1月7日から施行し、平成27年7月1日から適用する。